

Iの柱 子ども・若者の健やかな成長と自己形成・社会参画支援

基本目標2 社会形成・社会参加支援、職業的自立・就労支援

基本方策④ 職業能力の習得 / 就労支援の充実

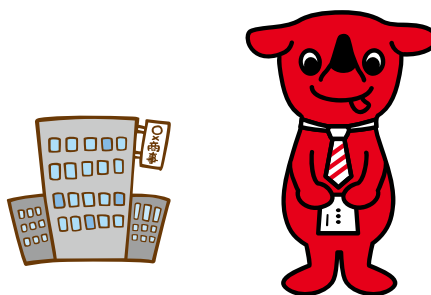
【現状と課題】

経済情勢は、緩やかな回復基調が続いており、景気回復を背景とした労働需要の増加により、雇用情勢も改善しています。

しかし、新卒者の早期離職や、大企業志向あるいは求人需要と求職需要の不一致といった課題が生じており、若者の職業意識・職業観をめぐる問題が指摘されています。このため、子ども・若者が、望ましい勤労観や職業観を身に付け、社会で自立し、仕事を通じて社会に貢献することができるよう、発達段階に応じたキャリア教育⁶、職場体験やインターンシップ⁷を充実・推進していくことが必要です。

また、就職氷河期に卒業を迎え、正社員として就職できなかった者をはじめ、ニート（若年無業者）⁸やフリーター⁹として不安定な生活を送っている若者の数は高水準で推移しており、本人に意欲があっても、希望する労働条件等と企業のニーズとのミスマッチにより就労が難しく、その対応が課題となっています。

一方、本県は、温暖な気候と豊かな大地、海に恵まれ、全国有数の産出額・漁獲量を誇る農林水産県ですが、就業者の高齢化も進み、担い手の減少が続いています。地域の産業の担い手の育成に向け、子どもたちに対し、関係者と連携して、農業・水産業に対する理解促進を図ることが必要です。



⁶ キャリア教育：社会的・職業的自立を促すために必要な意欲・態度や能力を育てる教育。

⁷ インターンシップ：児童生徒等が企業等において実習・研修的な就業体験をする制度。

⁸ ニート(若年無業者)：就業せず、求職活動もしていない人のうち、家事も通学もしていない15歳から34歳の人。

⁹ フリーター：15～34歳の若年（ただし、学生と主婦を除く）のうち、パート・アルバイト（派遣等を含む）及び働く意思のある無職の人。

【主な施策の方向性】

(1) キャリア教育の推進（学事課、雇用労働課、教育庁教育政策課、教育庁生涯学習課、教育庁学習指導課）

- ・ 若年者の就労意識を高めるため、職業理解・企業理解を進めます。
- ・ 学校教育の中で「生きる力」を育成するとともに、キャリア教育などの充実を図ります。
- ・ 地域との協同により、一人一人の生徒に応じた「学び直し」や「実践的なキャリア教育」を行い、地域と共に生きる自立した社会人の育成を目指します。
- ・ 子どもたちが、将来の職業に対する夢を育んだり、職業に対する理解を深めたりすることができるよう取り組みます。

(2) 若者の就労支援（雇用労働課、産業人材課）

- ・ 「ジョブカフェちば」¹⁰を中心に、就職・進路に関する相談や各種セミナーなどを実施するとともに、交流イベント等を通じて、若年者と企業との相互理解を促進します。
- ・ 学卒者や離職者に対して、高等技術専門校¹¹での施設内訓練や民間教育訓練機関等への委託による職業訓練を行います。

(3) 農業・水産業の理解促進（担い手支援課、水産課）

- ・ 農業者・漁業者との交流などを通じて、職業に関する理解の促進や知識の習得を図ります。

¹⁰ ジョブカフェちば：「ジョブカフェちば（ちば若者キャリアセンター）」は、船橋駅前フェイスタビル内に県が設置している施設であり、概ね30歳代（登録は44歳まで可）までの若者を対象とした就職支援センター。

¹¹ 高等技術専門校：千葉県立高等技術専門校（愛称：ちばテク）では、中学校・高等学校等を卒業して就職をしようとする人をはじめ、再就職や転職をしようとしている人などに職業能力開発を行い、企業での活躍が期待される「ひとつづくり」を目指しており、県内に6か所設置されている。

◎関連指標

	現状（基準年）	目標（H34）
[キャリア教育の推進] 職場体験・インターンシップを実施している公立学校の割合	中学校 97.2% 高校 88.9% (H28)	中学校 100% 高校 90.0%

◎主な事業

事業名	事業の内容（担当課）
小・中・高等学校のキャリア教育総合推進事業	「キャリア教育の手引き」（小・中・高等学校の教員を中心とした研究委員会が作成）を活用することや、職場見学、職場体験、インターンシップ等の体験活動や学校種間の連携を図ることで、小学校から高校につながる継続的なキャリア教育の推進を図る。（教育庁学習指導課）
キャリア教育推進事業	小・中・高校生を対象として、県内各地で科学や先端技術を体験する講座の開設や、子どもが親の職場を訪問する「子ども参観日」を県内に広めるキャンペーンを実施する。（教育庁生涯学習課）
ジョブカフェちば事業	若者の正社員就職・雇用ミスマッチ解消のため、キャリアカウンセラーが就職活動における個別相談やセミナーを行うとともに、関係機関との連携による若者と企業との交流イベントの実施や併設ハローワークでの職業紹介など、ワンストップで総合的な就業支援を行う。（雇用労働課）

Column 2

千葉県夢チャレンジ体験スクール

千葉県教育委員会では、企業や大学、研究機関等と連携して、「千葉県夢チャレンジ体験スクール」を実施しています。子どもたちが将来の職業に対する夢をはぐくむことを目的として、様々な就業体験や科学・技術などの体験、研究者や職業人との交流を通して、職業に必要な資質や能力等について学びます。

平成29年度は夏休みに、科学体験講座の「サイエンススクール」、最先端の科学・技術を体験する「キャリア教育科学・先端技術体験キャンプ」、企業で様々な就業体験を行う「キャリア教育しごと体験キャンプ」を実施しました。